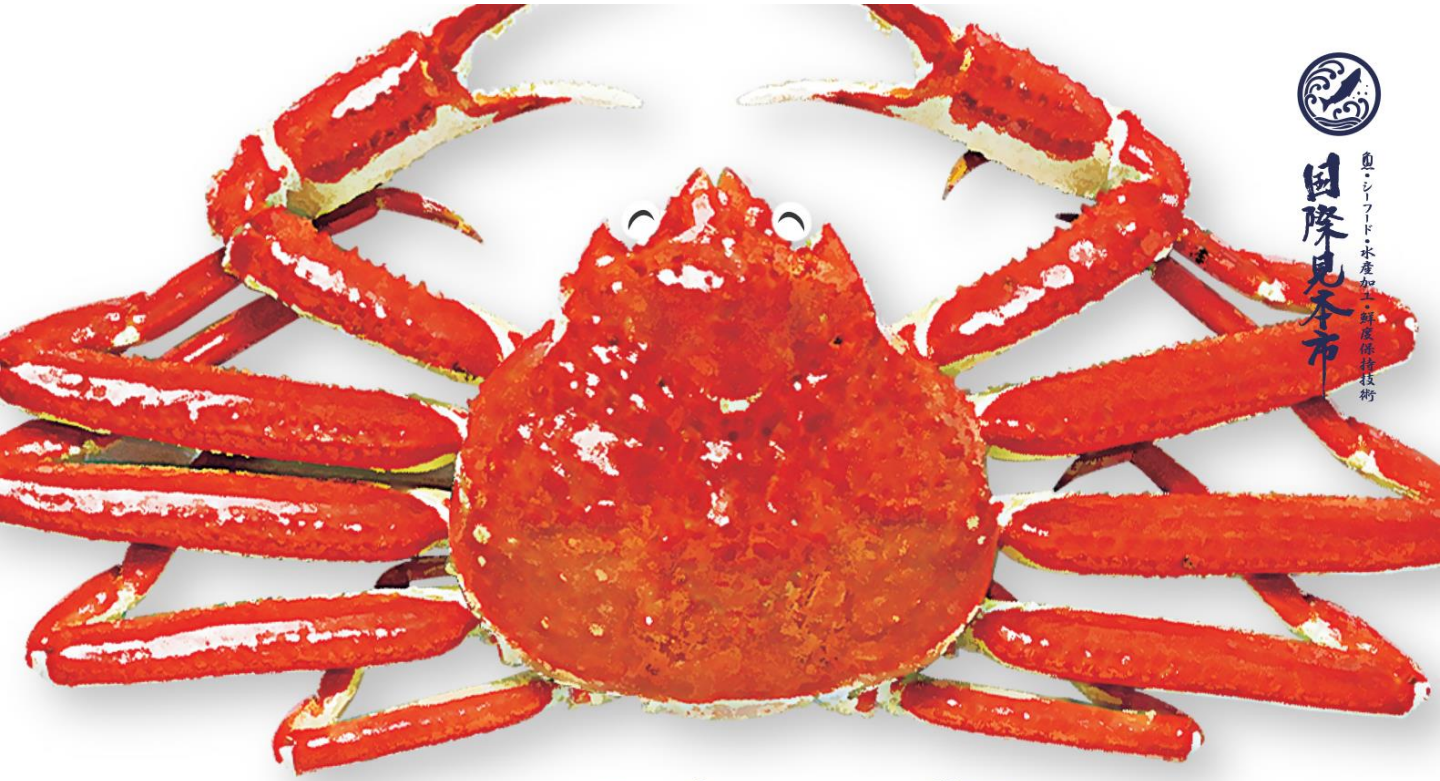

国際見本市
魚・シーフード・水産加工・鮮度保持技術

第24回 ジャパン インターナショナル シーフードショー

プレスリリース　※ 2022年8月3日現在

開催日時 2022年8月24日(水)▶26日(金)
10:00～17:00 ※最終日は16:00まで

会場 東京ビッグサイト 東館

同時開催
すし with 日本食EXPO ／ 国際水産養殖技術展 ／ アクアポニックスEXPO ／ 鮮度流通技術展
フィッシュネクスト技術展 ／ 海と水産業のSDGsコーナー ／ 衛生管理推進コーナー

主催　一般社団法人 大日本水産会

開催概要

催 事 名： 第24回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」

主　　催： 一般社団法人 大日本水産会

会　　場： 東京ビッグサイト 東館4・5ホール

会　　期： 2022年 8月 24日（水）～ 8月 26日（金）／3日間

開催規模： 約550社、約930小間

来場者数： 20,000名（目標）

開催の見どころ

1. 出展者の見どころ

前年度比1.5倍、約550社930小間を超える開催規模、日本、そして世界中の海から水産物が広く紹介されます。

1）水産立県をアピールする県・自治体の水産パビリオン

日本全国41都道府県から出展があり、11県・市はパビリオンにて参加されます。

・ パビリオン参加地域：宮城県、石巻市、富山県、山梨県、島根県、山口県、愛媛県、徳島県、高知県、松浦市、鹿児島県、その他、漁連等を通じて全国の水産商材を多数紹介予定。

2）コロナ前に迫る海外からの参加国数、充実の海外パビリオン

出展企業や商社等を通じて世界各国の水産物が広く紹介されます。直接参加国は18か国・地域に上ります。

・直接出展国・地域：アイスランド、アメリカ、インド、インドネシア、エクアドル、オーストラリア、韓国、スコットランド、スペイン、太平洋諸島センター、台湾、中国、チリ、トルコ、ノルウエー、パキスタン、ペルー、ベトナム

※ 昨年度：11か国・地域

2. 出展商品（食材）の見どころ

1）日本が世界に誇る大手水産企業の出展が復活します

極洋、日本水産、マルハニチロという日本、世界の水産業界をリードする3社が、3年ぶりに揃って出展されます。すし、養殖、コロナ後のヘルシー市場向け商品など各社ともに今後の水産業界を見据えたテーマをご提案いただきます。

2）世界中から“サーモン”が出品されます

今や水産商材の主役となったサーモン。世界の海から日本市場に向けて、過去最高の社数によって紹介されます。こだわりの生産による国産サーモンも紹介され、サーモン市場は、今後も拡大の見通し。

対象者：アイセン・アジア、アクア・アズーリ、カレタベイ・アジア、シーフードフロムスコットランド、トルコ、ノルウエー大使館、山梨県、他

3）ロシアウクライナ問題で注目の“カニ”

ロシアウクライナ問題で供給が懸念されるカニ商材。様々なカニ商品を有する企業から、自慢のカニが紹介されます。

対象者：キタウロコ荒木商店、さんれいフーズ、築地蟹商、富山県、マリネット、他

4）練り製品が、再注目

手軽なたんぱく源（フィッシュプロテイン）として、地域の伝統の味を表現する商品として、そして資源を有効活用したSDGｓな商材としても再注目の練り製品。
今後もバイヤー・消費者の意見を反映することで、進化が期待される食材です。
対象者：鈴廣蒲鉾、杉永蒲鉾、長崎井上、他

3. 出展商品（技術）の見どころ

1）漁業・水産業のスマート化技術

漁業・水産業界をITによってスマート化を推進する企業が、11社もの規模で出展されます。漁場予測、資源管理等、様々なアプローチで水産業界の近代化を促進する技術です。

対象者：アイエスイー、アンデックス、ウィズアクア、オーシャンアイズ、
オーシャンソリューションテクノロジー、漁業情報サービスセンター、
スペースワン、スマート水産業、東杜シーテック、富藤製作所、
ブルーオーシャン研究所、他

2）海面・陸上養殖の最新技術

水産資源への関心の高まりを背景に、水産業界のみならず、様々な産業から注目を集める海面・陸上養殖。自動車業界等の異業種からの新規参入も全国で相次いでおり市場規模は拡大することが予測されています。各工程の技術向上はもとより、都市型の陸上養殖システム、藻類の培養装置を付設した二枚貝の陸上養殖システムなど、注目の技術が目白押しです。

対象者：IMTエンジニアリング、ISPS推進協議会、アクアインパルス、岩谷産業、
大阪公立大学養殖場高度化推進研究センターコンソーシアム、
カイスイマレン、木下製網、広和、神戸御膳奉行、小西安、三相電機、
GISupply、ＪＦＥアドバンテック、SIXVOICE、奕思水産養殖、ダイニチ
ティビーアール、テック大洋工業、東京久栄、東陽テクニカ、
トーセン農場、巴商会、日機装、日鉄エンジニアリング、プレスカ、
マツイ、マリノフォーラム２１、ミサゴ、ミスト、他

3）その他

最新の冷凍技術、解凍技術、パッケージング技術、加工技術、粉末加工技術（パウダー）等、水産物を魅力的な商材にする技術が多数紹介されます。

対象者： IFT、アクト中食、秋山機械、サンユー印刷、TATSコーポレーション
TAMURA、寺田製作所、 NASCO、豊翔、大和製衡、山本ビニター、
レオン自動機、ワンピーク、他

出展者一覧

所属コーナー	会　社　名	都道府県
シーフードショー	イーストフロント北海道	北海道
	兼由	北海道
	キタウロコ荒木商店	北海道
	藤井水産	北海道
	柏崎青果	青森県
	ふかうら食品	青森県
	ヤマモト食品	青森県
	元正榮北日本水産	岩手県
	阿部長マーメイド食品	宮城県
	宮城県	宮城県
	石巻商工会議所	宮城県
	全国水産高等学校長協会	宮城県
	ツネザワ商事	宮城県
	間宮商店	宮城県
	ヤマウチ	宮城県
	渡會	宮城県
	出羽弥兵衛	山形県
	いわき市漁業協同組合	福島県
	復興水産加工業販路回復促進センター	福島県
	小松水産	茨城県
	晟晁	茨城県
	シー・メイト	栃木県
	レオン自動機	栃木県
	山田製作所	群馬県
	ゴトー養殖研究所	埼玉県
	シン・インターナショナル	埼玉県
	住ベテクノプラスチック	埼玉県
	テラダ・トレーディング	埼玉県
	ニチモウフーズ	埼玉県
	藤沢商事	埼玉県
	新生水産	千葉県
	TATSコーポレーション	千葉県
	NASCO	千葉県

シーフードショー	海と渚環境美化･油濁対策機構	東京都
	ASC（水産養殖管理協議会）	東京都
	エムエイティ	東京都
	MSCジャパン	東京都
	極洋	東京都
	グルメグローバル	東京都
	広洋貿易	東京都
	国際機関太平洋諸島センター	東京都
	国際ふぐ協会	東京都
	国産	東京都
	GOTJapan	東京都
	食品需給研究センター	東京都
	水産物・水産加工品輸出拡大協議会	東京都
	全国いか加工業協同組合	東京都
	全国漁業協同組合連合会	東京都
	大東通商	東京都
	築地蟹商	東京都
	東亜交易	東京都
	東京水槽製作所	東京都
	東洋水産	東京都
	True World Japan	東京都
	トビライズ	東京都
	ニシウオマーケティング	東京都
	日中商会	東京都
	日本水産	東京都
	日本活魚	東京都
	日本技術士会水産部会	東京都
	日本技術支会水産部会	東京都
	日本施設	東京都
	バイオジェニック	東京都
	伯方塩業	東京都
	ハラル・ジャパン協会	東京都
	北水	東京都
	ほやほや学会	東京都
	マリノフォーラム２１	東京都

シーフードショー	マルハニチロ	東京都
	みらいマルシェ	東京都
	明治水産	東京都
	メイプルフーズ	東京都
	モスカ・ジャパン	東京都
	山小三	東京都
	ヤマト	東京都
	ラングスター	東京都
	鮑屋	神奈川県
	ジャステック	神奈川県
	水土舎	神奈川県
	鈴廣かまぼこ	神奈川県
	大栄フーズ	神奈川県
	水産研究・教育機構	神奈川県
	高木屋	新潟県
	丸魚魚沼水産	新潟県
	富山県	富山県
	マイコック産業	石川県
	小浜市里山里海課	福井県
	ふくい水産振興センター	福井県
	山梨県	山梨県
	秋山機械	静岡県
	オトスイ	静岡県
	KID釧路	静岡県
	ブルーリンク	静岡県
	京成	愛知県
	佐藤食品工業	愛知県
	中部飼料	愛知県
	まるや八丁味噌	愛知県
	まんてん.	愛知県
	TA西村	三重県
	利八屋	三重県
	魚常商店	滋賀県
	IES	京都府
	アプロジャパン	大阪府

シーフードショー	イシカワ	大阪府
	大阪・泉州広域水産業再生委員会	大阪府
	ぎょれん北光	大阪府
	クラウドユニオン	大阪府
	グンゼ	大阪府
	GSK	大阪府
	東洋水産機械	大阪府
	VIPグローバル	大阪府
	フィッシュ・バイオテック	大阪府
	北斗精機	大阪府
	マルゼンブック	大阪府
	山本ビニター	大阪府
	ゆみるめ	大阪府
	アイナス	兵庫県
	インターナショナルIST	兵庫県
	香住水産加工業協同組合	兵庫県
	神戸御膳奉行	兵庫県
	宝屋	兵庫県
	多田フィロソフィ	兵庫県
	マルヨ食品	兵庫県
	日本ノヴェリカ	兵庫県
	紀州高下水産	和歌山県
	島根県	島根県
	SOLJAPAN	島根県
	日本海隠岐活魚倶楽部	島根県
	倉敷御膳奉行	岡山県
	今中物産	広島県
	ウーオ	広島県
	広島未利用魚新商品開発協議会/広島魚市場	広島県
	Ｆｕ	山口県
	やまぐちの農林水産物需要拡大協議会	山口県
	吉田水産・ショウリュウ	山口県
	徳島県	徳島県
	愛南漁業協同組合	愛媛県
	愛媛県	愛媛県

シーフードショー	オカベ	愛媛県
	東京水産振興会	愛媛県
	はぎの食品	愛媛県
	高知県産業振興センター	高知県
	高知県	高知県
	アルトトレーディング	福岡県
	キャビック	福岡県
	共進水産	福岡県
	サン・ダイコー	福岡県
	日伸産業	福岡県
	日本遠洋旋網漁業協同組合	福岡県
	福岡有明海（漁連）	福岡県
	福水商事	福岡県
	マサエイ水産加工	福岡県
	マリネット	福岡県
	メルシー	福岡県
	ヤマトバイオレッツ	福岡県
	リプライオリティ	福岡県
	杉永蒲鉾	長崎県
	長崎井上	長崎県
	長崎県松浦市（新松浦漁業協同組合）	長崎県
	熊本県海水養殖漁業協同組合	熊本県
	熊本県水産物輸出促進協議会	熊本県
	大分県漁業協同組合	大分県
	佐伯市シングルシード養殖協議会	大分県
	大分県漁業協同組合中津支店/イーストトレーディング	大分県
	器	宮崎県
	東町漁業協同組合	鹿児島県
	鹿児島湾ブリ類輸出拡大協議会	鹿児島県
	垂水市漁業協同組合	鹿児島県
	太新	沖縄県
	駐日アイスランド大使館	アイスランド
	在大阪・神戸米国総領事館農産物貿易事務所（ATO）	アメリカ
	SEAFOODFROMSCOTLAND	イギリス
	サンムーンカーゴパッカーズアンドムーバーズ	インド

シーフードショー	GlobalAlimentInc.	エクアドル
	GeraldtonFishermen'sCo-Operative	オーストラリア
	韓国水産業協同組合中央会	韓国
	KWANGCHEONKIMCO.,LTD.	韓国
	慶尚南道	韓国
	マリンインスツルメンツ	スペイン
	学國立高雄科技大學-海洋事務與產業管理研究所	中華民国
	中国水产流通与加工协会	中国
	FuzhouDeepoceanFisheriesCoLtd	中国
	遼漁集団	中国
	カレタベイアジア	チリ
	GumusdogaSuUrunleriUrt.Ihr.velth.A.S.	トルコ
	アクアアズーリ	ノルウェー
	ノルウェー水産物審議会	ノルウェー
	PEARLMARINEINTERNATIONAL	パキスタン
	GODACOSEAFOOD	ベトナム
	MinhDangCo	ベトナム
	ペルペス	ペルー
すし with 日本食EXPO	会津よつば農業協同組合	福島県
	大利根漬	群馬県
	マザー食品	東京都
	クレスコ北陸	石川県
	トップ	大阪府
	丸善	岡山県
鮮度流通技術展	豊翔	埼玉県
	IFT	東京都
	大和製衡	東京都
	TAMURA	東京都
	サンユー印刷	新潟県
	ワンピーク	愛知県
	アクト中食	広島県
国際水産養殖技術展	GISupply	北海道
	アクアインパルス	宮城県
	SIXVOICE	埼玉県
	東京久栄	埼玉県

国際水産養殖技術展	ISPS推進協議会	東京都
	IMTエンジニアリング	東京都
	広和	東京都
	小西安	東京都
	三相電機	東京都
	ＪＦＥアドバンテック	東京都
	テック大洋工業	東京都
	東陽テクニカ	東京都
	巴商会	東京都
	日機装	東京都
	日鉄エンジニアリング	東京都
	プレスカ	東京都
	マツイ	東京都
	ミサゴ	神奈川県
	カイスイマレン	富山県
	ティビーアール	愛知県
	岩谷産業	大阪府
	大阪公立大学養殖場高度化推進研究センターコンソーシアム	大阪府
	木下製網	大阪府
	ミスト	兵庫県
	ダイニチ	愛媛県
	トーセン農場	佐賀県
	奕思水産養殖	中華民国
アクアポニックスEXPO	大栄製作所	愛知県
	エスペックミック	大阪府
	安原環境テクノロジー	山口県
衛生管理推進コーナー	ウォーターエージェンシー	東京都
	環境衛生薬品	東京都
	キッコーマンバイオケミファ	東京都
フィッシュネクスト技術展	スマート水産業	北海道
	アンデックス	宮城県
	東杜シーテック	宮城県
	ブルーオーシャン研究所	埼玉県
	ウィズアクア	東京都
	漁業情報サービスセンター	東京都

フィッシュネクスト技術展	ＪＶＣケンウッド	東京都
	スペースワン	東京都
	富藤製作所	東京都
	アイエスイー	三重県
	オーシャンアイズ	京都府
	オーシャンソリューションテクノロジー	長崎県
水産エコラベルコーナー	世界水産物連盟	埼玉県
	オカムラ食品工業	東京都
	セブン＆アイ・ホールディングス	東京都
	高橋商店	東京都
	認証水産物展示コーナー	東京都
	マリン・エコラベル・ジャパン協議会	東京都
	福一漁業	静岡県
	ヨンキュウ	愛媛県
海と水産業のSDGsコーナー	エル・ダブル・ピー	東京都
	セイカダイヤエンジン	東京都
メディア	緑書房	東京都
	水産経済新聞社	東京都
	水産新聞社	東京都
	みなと山口合同新聞社	山口県
	BISPE	韓国
	台湾漁業博覧会	中華民国

※ 2022年8月2日（火）現在

開催の背景、出展者・来場者の関心の背景

1. 国際情勢の変化による水産資源への関心が高まる
　ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した世界的な食料不足への懸念、特にロシア産水産物の供給への懸念から、水産資源・水産物への関心が世界的に高まっている。

2. 円安等による国内の水産資源・水産物への関心が高まる
　円安によって比較的に手ごろな価格という印象となった国産水産資源・水産物への関心が、バイヤーより高まっている。産地問題も発生したことから、漁獲、養殖、加工等の履歴、履歴確かな水産物への関心が高まっている。そして、モジャコ不漁による養殖ブリの供給減から、代替となりえる家庭のメニューに最適な水産商材を探し求めている。

3. 水産物もニュースな商品になりえると期待高まる
　コンビニエンスストアなどでは、手軽で食べやすく、栄養価も高い食材として練り製品（フィッシュプロテイン）への関心が高まっている。コロナ禍によるヘルシー需要の高まりから、海藻への関心も高まっている。水産物・加工品も消費者ニーズに合わせた商品開発（アレンジ）を実施、提案すれば、消費者志向に合った、購買意欲を喚起させる“ニュースな商品”になりえると期待が高まっている。

4. 水産業への最新技術導入が本格化、新たな水産業へ向けて
　漁業や養殖にITをはじめとする最新技術を導入することで、効率的な漁業・養殖業を実現する取り組みが広がっており、魅力的な業界へ大いに変貌する可能性を有すると幅広い業界から関心が高まっている。

5. 新たな販売方法で販路開拓を検討
　水槽を設置して活魚（刺身で捌く）を販売する、干物製造機を設置して出来立てで（お買い物の間に、等）オリジナルな干物を製造販売するなど、魚を販売する新たな取り組みをバイヤーが模索している。

6. 3年ぶりの再会の機会へ
　コロナ禍の2年間は、十分な商談、商品提案、意見交換等が出来ない状況であったため、今年度の開催で3年ぶりの再会を出展者、来場者の双方が、待ち望んでいる。先の「シーフードショー大阪」会場に於いても、バイヤーからの熱心な商談姿勢が感じられた。インターネット、オンラインで集めた商品情報を確かなものにする(成約)には、会う機会、比較検討する機会が一度は必要と考えられている。

セミナー・イベント

1. 開会式
「シーフードショー東京」の盛会を期し、2年ぶりに通常形式による開会式を催します。コロナ対策の一環として、参加人数は、10名程度とし、ディスタンスを保ち、コンパクトながらも今後のコロナ禍からの再興に向けた機会とします。
開催場所：「シーフードショー東京」会場内特設会場
実 施 日：8月24日（水）　開催時間：09：40～ ※ 予定

2. 親子おさかな学習会
子どもたちに水産業や魚の栄養について関心をもってもらうため、都内近郊の親子200組（400名）を招聘し、座学、及び「シーフードショー」会場を観覧いただく取り組みを実施します。「シーフードショー」は大人が仕事をする場所ですが、将来のお客さんとして「おさかなファン」を増やすために、お魚好きはもちろん、自由研究、社会学習、将来のお仕事のイメージもできる取り組みです。
実施日：8月25日（木）、26日（金）／2日間　開催場所：「シーフードショー東京」

3. 水産研究125周年記念講演会
国内の水産研究は明治30年水産講習所が水産調査所に附設され、試験部が置かれたことからはじまります。これを記念して水産研究125年の歩みと共に、水産物の安全・安心のために近年取り組んでいる貝毒研究や水産資源研究に果たしてきた役割について紹介します。※ 続いて研究成果発表も実施します。
実 施 日：8月24日（水）　開催時間：11時～13時

4. すし試食デモンストレーション
外食人気No.1を誇り、宅配、持ち帰り等とカタチを拡げて市場開拓が続いており、まさに魚食を普及するパートナーである「すし」。会場・「すしEXPO」コーナーでは、お米、回転すし向けシステム等も紹介されます。
試食コーナーでは、トップ社の全面協力により、最新のすしロボットを通じて、出展者の皆さまのサカナを握って、ご来場者に振舞う試食デモンストレーションも実施いたします。
※コロナ感染者が、未だ拡大傾向にある場合には、試食デモンストレーションは、実施を中止、縮小する可能性もあります。

5 過去最高のセッション数となるセミナー・シンポジウム
水産研究教育機構125周年記念事業をはじめとし、日本水産資源保護協会、JETRO等によるセミナー、シンポジウムが、合計36セッションの規模で開催されます。
伸長著しい陸上養殖をテーマにした「陸上養殖勉強会」は、はじめて３日間にわたって開催。魚食普及を促進すべくサカナの魅力を再発見するセミナーも東京海洋大学・長阪先生のもと、初開催されます。
※認証証書授与式（8月26日（金）14時～16時）も催されます。

開催開催セミナー

8月24日（水）

（敬称略）

A会場	11:00 ▼ 13:00	水産研究125周年記念講演会 主催：水産研究・教育機構
	13:30 ▼ 15:30	水産研究・教育機構　開発調査センター取り組みの紹介 主催：水産研究・教育機構
B会場	13:30 ▼ 15:30	**第31回 陸上養殖勉強会** 「座長挨拶」 東京海洋大学　教授　廣野育生 「陸上養殖に関する実態調査等について」 水産庁　増殖推進部　栽培養殖課　係長　小川大樹 「ゲノム編集育種を活用した陸上養殖の可能性」 京都大学　准教授　木下政人 「オニテナガエビ・バナメイエビ種苗生産への挑戦の記録」 IDST CO.,LTD.　代表取締役社長　田中孝志
C会場	15:30 ▼ 16:30	外食産業向け！サステナブル調達～BAP認証の活用について～ 主催：世界水産物連盟(GSA: Global Seafood Alliance)
D会場	12:00 ▼ 13:00	海と陸をツナグ！持続可能な環境水産 主催：SOUL FOOD JAPAN
	13:30 ▼ 14:30	アニサキス症の現状と課題 ～天然魚と養殖魚におけるアニサキス寄生率の違い～ 福井県立大学　海洋生物資源学部　准教授　瀧澤文雄 主催：株式会社 ゴトー養殖研究所
	15:00 ▼ 17:00	イスラム市場水産ハラルセミナー 主催：一般社団法人ハラル・ジャパン協会
E会場	13:30 ▼ 15:00	水産女子セミナー２０２２ 主催：国産水産物流通促進センター　構成員　公益社団法人　日本水産資源保護協会

8月25日（木）

（敬称略）

B会場	13:00 ▼ 15:00	**第31回 陸上養殖勉強会** 「座長挨拶」 東京海洋大学　准教授　遠藤雅人 「餌料藻類培養システムおよび閉鎖循環式海産二枚貝類陸上養殖システムについて」 株式会社東京久栄　新領域推進室　開発リーダー　水町海斗 「格段に美味しくなった養殖魚」 東京海洋大学　産学・地域連携推進機構　客員教授　岡﨑惠美子 「販売価格を考えた商品作りと提案」 株式会社 神戸御膳奉行　代表取締役　甲斐芳人
	15:30 ▼ 17:00	主催：株式会社水土舎
C会場	11:00 ▼ 13:00	水産物輸出拡大への取り組み～輸出の基礎からHACCPまで～ 主催：大日本水産会、日本貿易振興機構（ジェトロ）
	12:30 ▼ 15:00	**魚食普及セミナー** 「沖縄県産アオリイカのイカスミによる女性ホルモン様作用について」 東京海洋大学　学術研究院　准教授　長阪玲子 「魚食と予防医学～フレイル対策と感染症予防～」 早稲田大学規範科学研究所 ナノ・ライフ創新研究機構　規範科学研究所ヘルスフード科学部門 部門長　矢澤一良 「褐藻類の水溶性多糖類と腸内常在菌」 東京海洋大学　学術研究院　食品生産科学部門　教授　久田孝
	15:30 ▼ 16:30	海業の振興による漁村地域の活性化に取組む　和歌山県太地町 青空舎　主宰　横川 倫子 主催：全国漁業協同組合連合会
D会場	11:00 ▼ 12:00	サステナビリティーの新たな取り組み 主催：ASCジャパン
	13:00 ▼ 15:00	次世代に繋ぐ豊かな海～他視点で見た水産資源評価～ 主催：オーシャンソリューションテクノロジー株式会社
	15:30 ▼ 17:00	牡蠣養殖の革命　超強靭・超耐久のバスケット【ヘクセル】 ＆超効率・高品質のシステム【フリップファーム】 主催：株式会社ダイニチ
E会場	11:00 ▼ 12:00	古くて新しい実力食材「ほや」　マイナー食材活用で固定客が増えた店 主催：一般社団法人ほやほや学会
	12:30 ▼ 13:30	プラごみをその場でクリーンエネルギー海洋プラゼロへの取組～ 主催：公益財団法人海と渚環境美化･油濁対策機構 他
	14:15 ▼ 16:00	閉鎖循環式陸上養殖に重要な水処理技術とアワビ養殖の魅力・展望 主催：ティービーアール株式会社／株式会社プレスカ

8月26日（金）

（敬称略）

B会場	11:00 ▼ 12:30	プラごみをその場でクリーンエネルギー海洋プラゼロへの取組～ 主催：公益財団法人海と渚環境美化･油濁対策機構 他
	13:00 ▼ 15:45	**第31回 陸上養殖勉強会** 「座長挨拶」 IMTエンジニアリング株式会社　技術研究所　所長　野原節雄 「養殖のイメージを覆す好気的脱窒を用いた完全閉鎖循環式陸上養殖システム － 小さい環境負荷、労働環境の良さ、二倍速の成長、安全・安心、美しい姿、美味しさ －」 株式会社ウィズアクア　陸上養殖研究所　技術顧問　延東　真 「有用エビ類の生化学的研究と新養殖技術開発への展開」 ShrimpTech JIRCAS　マーシー・ワイルダー 「酸素と微生物が作り出す生命環境」 大栄THA株式会社　環境部　代表取締役会長　森田通夫
C会場	11:00 ▼ 12:30	**復興水産加工業等販路回復促進事業の取組状況と事例紹介について** 「復興水産加工業等販路回復促進事業の取組状況について」 復興水産加工業販路回復促進センター　代表機関　全国水産加工業協同組合連合会 代表理事専務　竹葉　有記 「長所進展の考え方で取り組む商品開発事例」 株式会社船井総合研究所 第三経営支援本部　地方創生支援部 パブリックセクターグループ シニアコンサルタント　伊藤　順 「水産物の放射能調査について理解を深めるために」 水産庁　増殖推進部　研究指導課　水産研究調査班 企画係長　原田　雄輝
	13:00 ▼ 15:00	日本人とマグロ-魚食文化を支える技術 主催：公益社団法人日本技術士会　水産部会　幹事　杉本　昌明
D会場	11:00 ▼ 12:30	市場関係者向けHACCP関連セミナー 主催：一般社団法人海洋水産システム協会
	13:30 ▼ 15:30	海・浜・食、そして、人命を守る～DXが可能にする未来～ 主催：オーシャンソリューションテクノロジー株式会社

第24回 ジャパンインターナショナルシーフードショー

THE 24TH JAPAN INTERNATIONAL SEAFOOD & TECHNOLOGY EXPO

取材に関するお問合せは、―

「シーフードショー」事務局／エグジビション テクノロジーズ 株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館8階

TEL：03-5775-2855　FAX：03-5775-2856　E-mail：sf@exhibitiontech.com